

授業実践記録シート

平成30年10月15日		授業者 老沼 晃子	
小学1年		教科 道徳	教材名 がんばれ！車いすのうさぎぴよんた
話し合い活動の意図と手立て	(意図) ・資料のぴよんた(障がいのあるうさぎ)に対する園児達の思いや考えを共有するため。 (手立て) ・考えの可視化 ①ワークシートの活用 ②話し合いの形態 全体→2～3人グループ(席が近くの児童と)→個人→自由交流→個人→全体 ③発問の工夫		
	成果 ・席が近くの児童同士や自由交流で話し合うということを継続して行ってきたので、1年生なりに話し合うことができた。 ・資料を読んで、「園児達が、ぴよんたを大切にしていると分かるのはどこか」という多様な考え、意見が期待できる発問をすることで、いろいろな考えがでた。 ・自由交流で、自分の考えを伝え合うことを通して、個人の考えが深まったり、自分で考えを書くことができなかつた児童は友達の意見を参考にして書いたりすることができた。 ・話し合いの時に、どの場面について話し合っているか、場面絵を指しながら話し合っていた。低学年の児童には絵も理解する手立ての一つと分かった。		
	課題 ・2～3人グループでの話し合いの時に、人数を指定しなかつたため、5人集まったグループもあった。人数が多いと、誰から話すかで話し合いのスタートが遅くなってしまう。また、進んで話すことが難しい児童は、聞いているだけになってしまった。 ・自由交流は、自分から話し合いに参加するのが難しい児童は、歩いているだけになってしまった。児童同士を繋げるように教師がコーディネートするようにしたい。		

(写真・資料など)



## 小学校1年生が話し合い活動を行うまで

1. いろいろな人と話すことができるように、学級の雰囲気づくり、人間関係づくりをする。

授業の中で交流する（国語：名刺交換）



クラスレクリエーション



2. 話す力、聞く力を身に付ける。

- なかなか話し掛けられない児童には、話し掛ける言葉を教える。  
例：「ぼくも話に入れて」、「私は〇〇と思ったんだけど」など
- 話を聞いている時は、リアクションをすることを教える。  
例：うなずく。「そうなんだ」と相づちを打つ。など



3. 話合う時のルールを明確にする。

- 課題のことについて、話す。（課題に関係ない話をしない。）
- 男女関係なく話し合う。（仲の良い人とだけで話すのではなく、いろいろな人と話す。）
- 「話し合いに入れて」と言われたら、受け入れるように。（ダメと言わない。）

※話し合い活動は、話すことに慣れることが必要。様々な授業で取り入れ、継続的に指導する。

算数（カードの並びを見て、気付いたことを話す）



国語（グループで調べ学習）

